

戦略研究プログラム

プログラムの目的

本学と防衛省防衛研究所との連携プログラムであり、安全保障・防衛政策に携わる日本及び各国の幹部級実務者に対し、より高度な政策立案・実施能力、情報収集・分析および発信能力、関係諸国との対話能力などを獲得するために必要な教育を実施するとともに、政策研究のための場を提供することを目的としています。

ディプロマ・ポリシー

本プログラムでは、所定の年限以上在学し、教員の指導の下プログラムのカリキュラムに基づき、所定の単位数以上を修得し、特定の課題に関する研究論文を執筆・発表し、合格判定を受けた方に修士(政策研究)の学位を授与します。

本プログラムで、学生が身に付けるべき資質・能力の目標は次の通りです：

- ① 安全保障・防衛問題を理解するための知識と分析能力
- ② 学んだ知識を政策に結びつけられる能力
- ③ 政府関係等の対応や関係諸国との調整、各種法制の適用などを踏まえつつ、政策を実現させる実践力
- ④ 組織のリーダーとして、必要な情報を提供し、また問題解決方法を提示する能力
- ⑤ 国際社会の動きを理解し、異なる価値観や制度に柔軟に対応しつつ、バランスをもったリーダーとして活躍できる能力

カリキュラム・ポリシー

基本方針

戦略研究プログラムは本学と防衛省防衛研究所とが連携して実施しており、学生には当該分野における幅広い基礎知識のほか、高度な専門知識を身に付けるため多くの科目を必修科目または選択必修として履修させることとしており、安全保障・防衛に関する政策立案・実施を高い専門性をもって担当することのできる実務者を養成します。

カリキュラムの構成

必修科目、選択科目に加え、本プログラムでは、講義等で学んだことを実際の政策に結び

つけるための手段として、政策シミュレーションを取り入れています。学生は、政策決定過程に関する講義を受けた後、各種のシナリオに基づいて安全保障・防衛政策のあり方を研究・討議するとともに、政府機関等の対応や関係諸国との調整、各種法制の適用などについて演習を行います。

修士論文にあたるリサーチペーパーについては、入学後なるべく早い時期にテーマと指導教員を決定し、修了までの1年間で執筆します。論文執筆にあたっては、各学生につき、本学と防衛研究所から1名ずつ、計2名の教員が指導します。

(必修科目)

学生は、本学と防衛研究所において必修及び選択必修の各科目を履修します。必修科目としては、国際安全保障論、戦略理論、法と安全保障、経済と安全保障、各地域における安全保障問題など、安全保障に関する基礎的な知識から実務に活用できる科目や、戦争史原論や近代日本の軍事史など、長期的な視点から安全保障・防衛政策を考えるために必要な科目まで、広範に設定しています。

(選択科目)

選択必修科目としては、米国、中国、朝鮮半島、東南アジア、中東などについて地域別に安全保障問題を考察するための科目とともに、国際政治学概論、政軍関係概論、宇宙と安全保障、防衛産業・技術開発概論などの分野別の科目を、それぞれ学生の関心に応じて履修することができます。さらには、東アジアの歴史認識をめぐる諸問題など、安全保障政策に影響を与える課題に関する科目も開講されます。

教育・学修方法にかかる方針

本プログラムでは、修了に必要な30単位のうち、少なくとも2単位は演習となります。学生は講義によるコースワークのほか、政策シミュレーションを学び、演習や実習形式での授業を受けることにより、講義等で学んだ事を実際の政策に結び付けられる能力を身につけます。積極的に講義におけるディスカッションに参加し、自身の実践的な経験や知識と新たな知見を理論的に融合させることが求められ、それにより理解を深め、学びの質を高めることとなります。

成績評価

成績評価は各科目において、授業への貢献度・試験・レポート提出等を考慮した上で、知識の習得・理解及び実践的なスキルを評価し、特定課題研究の論文執筆を通して、総合的な能力を評価します。論文の審査は、「学位論文審査体制、方法及び評価基準」に沿って審査し、その可否を判定します。

アドミッション・ポリシー

求める学生像

本プログラムでは、防衛・安全保障政策に携わる日本及び各国の幹部級の実務者で、より良い政策立案・実施のために必要な高度で幅広い最新の知見を獲得し、国及び地域の安全保障・防衛に貢献することを目指す意欲のある行政官を受け入れます。

また対象は各国の外交・防衛・安全保障等に関する行政機関の幹部職員であり、入学前には当該業務について5年以上の実務経験を有し、アカデミックな英語力を有することが求められます。

審査方法及び審査基準

【第1次審査】

出願書類に基づく審査を行います。

審査は、これまでの職務経験、推薦者2名による評価内容、大学(学部)の学位と勉強内容及び成績、研究計画の独創性及び現実的な政策課題との関連性、問題意識の具体性、修士論文等の内容及び論文執筆に問題のない英語能力の保持等の観点から、総合的に判断し、選考します。

【第2次審査】

第1次審査の合格者に対してオンラインで面接を行います。書類選考で必要と判断された者には課題提出を課す場合があります。

面接では決められた設問に対する受け答えをしていただき、応募者の回答内容の論理性、的確性、政策課題への目的意識、学習意欲、修了後のキャリアプランの明確さ、英語によるコミュニケーション能力等を審査基準として選考します。

カリキュラムマップ： 戦略研究プログラム

ディプロマポリシー① ディプロマポリシー② ディプロマポリシー③ ディプロマポリシー④ ディプロマポリシー⑤

| 区分 | 科目番号 | 科目名 | ①安全保障・防衛問題を理解するための知識と分析能力 | ②学んだ知識を政策に結びつけられる能力 | ③政府関係等の対応や関係諸国との調整、各種法制の適用などを踏まえつつ、政策を実現させる実践力 | ④組織のリーダーとして、必要な情報を提供し、また問題解決方法を提示する能力 | ⑤国際社会の動きを理解し、異なる価値観や制度に柔軟に対応しつつ、バランスをもったリーダーとして活躍できる能力 |
|---------------|---|---|---------------------------|---------------------|--|---------------------------------------|--|
| 区分Ⅰ 必修科目 | SSP5301J | 政策論文演習 | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| | SSP1011J | 国際安全保障論 | ○ | ○ | ○ | | |
| | SSP1013J | 法と安全保障 | | | ○ | ○ | |
| | SSP1014J | 経済と安全保障 | ○ | | ○ | | |
| | SSP1015J | 米国の安全保障政策 | ○ | | | | ○ |
| | SSP1016J | 東アジアの安全保障Ⅰ | ○ | | | | ○ |
| | SSP1017J | 戦争史原論 | ○ | | | | |
| | SSP1018J | 冷戦と日本の安全保障政策 | ○ | ○ | | | ○ |
| | SSP1021J | 紛争と国際社会 | | | | | ○ |
| | SSP1022J | 軍備管理・軍縮・不拡散 | ○ | | | | ○ |
| | SSP1023J | 地域安全保障Ⅰ(欧州、ロシア) | ○ | | | | ○ |
| | SSP1024J | 地域安全保障Ⅱ(東南・南アジア、中東、オセアニア) | ○ | | | | ○ |
| | SSP1025J | 東アジアの安全保障Ⅱ | ○ | | | | ○ |
| | SSP1031J | 科学技術と安全保障 | | | ○ | | ○ |
| | SSP1032J | 社会の安全と危機管理 | ○ | | ○ | ○ | |
| | SSP1033J | 近代日本の軍事史 | ○ | | ○ | | |
| | SSP1036J | 宇宙・サイバー・電磁波領域等の安全保障 | ○ | | ○ | | |
| | SSP3301J | 政策シミュレーション | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 区分Ⅱ 選択必修科目 | SSP1101E | Introduction to Japan's Security | ○ | ○ | | | |
| | SSP2102J | 中東の安全保障問題 | ○ | | | | ○ |
| | SSP2103J | 東南アジアの安全保障 | ○ | | | | ○ |
| | SSP2104J | 軍事史料とこれからの文書・資料 | ○ | | | ○ | |
| | SSP2106J | 朝鮮半島をめぐる安全保障 | ○ | | | | ○ |
| | SSP2108J | 武力行使と国際法 | ○ | ○ | ○ | | ○ |
| | SSP2111J | 日本軍事史 | ○ | | ○ | | |
| | SSP2112J/E | 国際政治学概論/Introduction to International Politics | ○ | | | | |
| | SSP2113J | 民間軍事会社の現状と課題 | ○ | | | | ○ |
| | SSP2114J | 海洋安全保障 | ○ | ○ | | | |
| | SSP2116J | 組織の統制・調整 | ○ | | ○ | ○ | |
| | SSP2117J | イスラーム主義とテロリズム | ○ | | | | ○ |
| | SSP2118J | 戦後日本の安全保障政策と国際関係 | ○ | ○ | ○ | | |
| | SSP2119J | 宇宙と安全保障 | ○ | ○ | | | ○ |
| | SSP2122J | 再考 太平洋戦争への道 | ○ | | | | |
| | SSP2124J | 防衛生産・技術概論 | ○ | ○ | ○ | | ○ |
| | SSP2125J | 現代中国の外交 | ○ | | | | ○ |
| | SSP2127J | 戦略策定法 | | ○ | ○ | | ○ |
| | SSP2128J | 戦争と平和 | ○ | | | | ○ |
| | SSP2133J | ユーラシアの戦略環境 | ○ | | | | ○ |
| | SSP2134J | 宇宙開発利用特論(技術と動向) | ○ | ○ | | | ○ |
| | SSP2137J | ロシア軍事史 | ○ | | | | ○ |
| | SSP2138J | 日米同盟の歴史 | ○ | ○ | | | |
| | SSP2141J | 軍事組織の社会学的考察 | ○ | | | | |
| | SSP2142J | 中国軍事史 | ○ | | | | |
| | SSP2143J | 国際政治の中の韓国現代史と日韓関係 | ○ | ○ | | | |
| | SSP2144E | The Post-War History of Japanese Security Affairs | ○ | ○ | ○ | | |
| | SSP2145J | 防衛法制論 | | ○ | ○ | | ○ |
| | GEN5020E | The World and the SDGs | ○ | ○ | | ○ | ○ |
| | GEN5030J | GRIPS Forum Ⅰ | ○ | ○ | | | ○ |
| | GEN5040J | GRIPS Forum Ⅱ | ○ | ○ | | | ○ |
| | GOV1400E | International Relations in East Asia | ○ | | | | ○ |
| | GOV1460E | The Making of Modern Japan | ○ | | | | |
| | GOV2100E | Government and Politics in Japan | ○ | | ○ | | |
| | GOV2200EA/B | International Relations | ○ | | | | ○ |
| | GOV2210E | International Political Economy | ○ | | | | ○ |
| | GOV2230E | Japanese Foreign Policy | ○ | ○ | ○ | | |
| | GOV2240EB | International Security Studies | ○ | ○ | ○ | | |
| | GOV2310E | Comparative Politics | ○ | | | | |
| | GOV3240E | Non-Traditional Security | ○ | | | | ○ |
| GOV3280E | Analysis of Great Power Politics | ○ | | | | ○ | |
| GOV3310E | Comparative Political Economy | ○ | | | | ○ | |
| GOV6220E | Strategic Studies Research Seminar | | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| MSP3000E | International Law | ○ | ○ | ○ | | ○ | |
| MSP3010E | International Law of the Sea | ○ | ○ | ○ | | ○ | |
| SSP5000E | Case Study on Maritime Safety and Security Policy | ○ | ○ | ○ | | ○ | |
| | | その他ディレクターが適当と認める科目 | | | | | |
| 区分Ⅲ 選択科目 | | 上記以外の授業科目 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 区分Ⅳ その他 | | その他のプロフェッショナル・コミュニケーションセンター開講科目 | ○ | ○ | | | |